



オペル デザインデザイン コンペ'98 East Meets West 審査員田代光一氏(右)の作品

歴史博物館シンボルマーク、決定。



香川県歴史博物館の歴史の入り口である門を表現し、その向こう側にある歴史のページを表現。

手袋等デザイン開発事業の大賞は 大西洋三氏に決定

平成10年度に募集していた手袋等のデザイン開発については12の個人・法人会員より、138点の応募をいただきました。審査の結果、大賞は大西洋三さんの「付け替えカラー手袋セット」に決定しました。また、総会において入賞作品を展示するとともに入賞者の方々に賞状・賞金が贈られました。

- 大賞=大西洋三「付け替えカラー手袋セット」
- 優秀賞=谷川和之「ジャポニスム手袋」、(株)オーキッド「ニードルパンチ手袋」、(株)デザインエーシー「カジュアルリュック」「ニューデザイン手袋」
- 入賞=栗川俊二「バットマン手袋」「エンジェル手袋」、谷川和之「ライオン手袋」、井上商環境設計(株)「マト君」「むぎがけさん」、(株)デザインエーシー「レーザーペンダント」「カジュアル帽子」、(株)デザインオフィスワーク「つみ二郎」、(有)猿子デザイン研究室「ドレミファ手袋」、「応援手袋」



大西洋三さんの付け替えカラー手袋セット

富山プロダクトデザインコンペティション1999

富山プロダクトデザインコンペティション1999では、「商品化のためのコンペティション」を開催。応募登録期限は、1999年9月10日(金)までとなっています。商品化検討課題として、(1)暮らしを重視した機能性、デザイン性、今日性を加味した飽きのこない「リビング雑貨」と(2)コンピュータおよびプリンター等の機器を設置する事を前提に長時間快適に活用可能な「オフィスワークテーブル」の2つがあります。

- デザインエーシー「ワーキングテーブル」
- デザイナーズエーシー「ワーキングテーブル」
- デザイナーズエーシー「ワーキングテーブル」
- デザイナーズエーシー「ワーキングテーブル」
- デザイナーズエーシー「ワーキングテーブル」

日本初のポスター掲示板

徳島市内新町橋の川べりに、ポスター掲示板が作られています。日経デザイン誌などで、全国的にも取り上げられた施設です。計画を立案したのは、あるデザインをしている女性で、スイスのポスター掲示板のようなものが、徳島にできたらと思う、いろいろなジャンルの人々と連携をとって半年くらいで実現させたそうです。出来上がりはもう少しだとも思いましたが、そのエネルギーというか熱意がここまで作った事考えたら、画期的なことと言えるでしょう。時間がある方は一度見学されるとうとう。周囲の川のロケーションはなかなかのものです。(栗川俊二)



JAGDA香川のポスター(写真のポスターは猿子、田代氏の作品)

香川県デザイン協会入会状況

(平成11年7月20日現在)

正会員 法人52 個人76
賛助会員79 進会員3 合計210

正会員内訳			
分野	法人	個人	計
A グラフィック	20	23	43
B 建築・環境	13	10	23
C インテリア	4	10	14
D インドストリアル	0	0	0
E テキスタイル	3	3	6
F その他	12	30	42
	52	76	128

賛助会員内訳	
分野	会員数
A 製造業	25
B その他企業	19
C 個人	9
D 地場組合	8
E 商工団体	8
F 行政	10
計	79

情報をお寄せください。
香川県デザイン協会は、会員募集を積極的に行っており、皆様のご加入を歓迎いたします。また、会員様には、各種の情報や資料をお知らせいたします。ご加入をご希望の方は、お気軽に事務局までお問い合わせください。

香川県デザイン協会

1999年発行(年3回発行)
事務局〒761-0301高松市林町2217番地15
香川県産業振興センター内
Tel:087-869-3700/Fax:087-869-3703

第2回デザイン展、テーマ決まる!

香川デザインフェスタ2000

会期/平成12年3月下旬(開催予定)
会場/香川県文化会館
(予定、会館の正式申し込みは9月)

部門は2部門 テーマ
Old & New
—調和・対峙・誕生—

●自由部門
日常の仕事や自由作品を出品してください。

※詳細については、同封の案内をご覧ください。

今年3月、香川県文化会館で行われた「第1回香川デザインフェスタ」は、各方面にさまざまな反響を呼びました。引き続き、今年度もデザイン展開催を企画。普及啓発委員会にて検討を進めた結果、西暦2000年という時代の転換点でもあり、タイトルを「香川デザインフェスタ2000」、テーマ部門のテーマを「Old&New—調和・対峙・誕生—」とすることにしました。20世紀末を締めくくる作品となります。社会からのデザインに寄せる期待も大きくなっています。学生も地元の前輩たちを見に来ます。子どもも遊びに来ます。どうぞ、いまから出展内容をじっくりとご検討ください。自由部門は、ご自身のデザイン作品の展示を募集します。



産業デザインフォーラム'99「産業・環境とデザイン」講演会よりの挨拶
平成11年2月10日 高松市林町香川インテリジェントパーク内 穴吹環境デザイン研究所にて

喜多俊之氏 Toshiyuki Kida

1969年イタリア・ミラノと日本で制作活動を開始。1987年パリ・ボンビッドセンター10周年記念展招待作家として「未来空間」を提案。1990年スペインにおいて「デルタ・デ・オロガ」全賞を受賞。環境及び空間、インドストリアル・デザインで国際的に活躍し、日本を始め、イタリア、ドイツなど、海外からも多くの作品を発表する。ニューヨーク近代美術館を始め、作品が世界のミュージアムのパーマネントコレクションに選定される。また、地場産業の活性化にも携わり、和紙や漆などの日本の伝統工芸と取り組み。

デザインしたものは、売れなければならぬ。

私のデザインの仕事は、アルミ関連の会社へ就職し、そこで早くから、商品設計や全国のディーラーへの発表、展示会のプロデュースなどすべて任せという大変幸運なことから始まりました。

その後デザイン事務所を構えた昭和43年ごろは、ちょうど日本に電話が普及しはじめたころでした。家具メーカーから部材が余っているのが利用できるか相談を受け、電話台をデザインしたところ、大ヒット。まだ、デザインという言葉もあまり聞かれない時代だったので、新鮮だったのでしょう。その時、感じたのが、「デザインとは産業であり、デザインしたものは、売れなければならぬ」ということでした。

しばらくして、研修と旅行でアメリカやヨーロッパへ旅しました。30年も前から、まだ海外旅行がめずらしい時代でした。

その後、私はカルチャーショックを受けました。それからもっと世界を知りたいと思いました。

旅から帰国して三ヶ月後イタリアで過ごすと思いきや、イタリアのミラノへと向かいました。

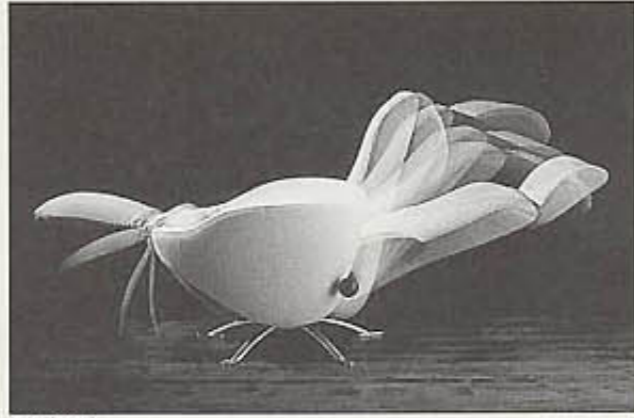
最初は、イタリアで過ごしてみたかったという気持ちでした。ヒット商品のお陰で金銭的に少し余裕があったので、良いものにふれるために、立派なホテルに泊まりました。ホテルの従業員に日本語を教えてくれと頼まれたので、教えることになりました。すると、ヨーロッパは友達社会ですから、人から人へと紹介してくれて、知り合いも多くなって、様子が変わるようになりました。

日本の伝統技術や地域産業は、世界から注目されている。

ちょうど私が訪れたころのイタリアは、住宅復興の時代でした。イタリアも戦後街が壊滅しました。狭いアパートで人が暮らしていたのが50年代。そして、60年代になると、それを壊して住宅を広くしました。自然と人々が集まらなくなり、インテリアもboomになり、60年代の後半には生活革命が起きました。

いまもそうですが、イタリアにはインテリアコーディネーターはいません。なぜなら主婦たちが自分でできるからです。家は生活のためだけでなく人の集まるサロンなのです。ですから、家をきちんとして、しっかりした家具も必要です。システムキッチンも、お客さんが来たときタイムング良く食事を出すために必要でした。主婦は客が来る前に用意を済ませ、自分もソファに座って一緒に話すのです。

イタリアは、とても親日の国でした。多くの人と知り合いになって、家から



didò (1988)

家へと招かれ、暮らしとデザインは切っても切れないもので、日々の暮らしを豊かに過ごすためにあるものだと思っていました。当時、街並みには電線が無く、看板も取り除かれていました。郊外の建物でも、内部は自由に行っても、外観は周辺の農家のようなデザインを守って、景観を壊さないようにしていました。

世界の人々は、日本の伝統工芸や地域に残る技術に大変関心を寄せられています。私も、普段の生活の中にデザインがあり、景観にも配慮しているヨーロッパにいて、伝統工芸や地域産業の良さを感じていました。しかし、日本の伝統工芸はまだ残っていると信じていたのですが、残念ながら衰退したり、途絶えているところが多いのが現状です。私は今から30年ほど前には和紙職人とお出あったのをきっかけに、多くの伝統的な仕事をすることにしました。

伝統産業はそのままでなく、デザインすると何かが拓ける。

衰退する伝統的な技術や地域産業を何とかできないかと思いきや、漆に続き伝統産業である銅製品をデザインしました。現在、フランスの有名な紅茶の会社、マリアー・ジュベール社が私の製品をたいへん気に入ってくれて、茶器のシリーズを全て買ってくれることになりました。いま、その商品はフランスから世界に販売されています。日本の伝統産業は、世界のトップクラスの技術ですから、いいものがあると、世界トップクラスのお店で取り扱ってくれます。

伝統産業は以前のままでなく、デザインすると何かが拓けるのです。ですから、地域から直接、世界に向けて発信できることが大切です。20人ほどの小さな一地方企業でも、世界に向けて発信していきます。



講演風景

私がデザインするものは、すべて国籍を日本にしています。日本は、これからは技術とデザインで成り立ってゆくのだと思います。背景には、伝統工芸や地域産業の力が重要で、それが次の日本の大きな力になります。それらを活かして世界の人々に役立つものを作れば産業として通用するものとなります。次のキーワードは海外にヒントがあるのではなく、自分たちの身近にもあるのです。

ヨーロッパだけでなく、アジアにも行く機会が多いのですが、デザインという言葉が世界のどこかの街に行ってもキーワードになっています。デザインは、マルチメディアとともに、未来の方向性を模索する言葉となります。今年1月フィンランドにデザインコンペティションの審査委員として招かれた時も、人口が500万人ほどの国なのですが、デザインをキーワードとして産業と生活の活性化を図っているのを見ました。

1920年代にヨーロッパでは日本のデザインがboomとなりましたが、いま再び日本ブームが来ている、それも衣食住にわたって広がっています。生活と産業とデザインは、ひとつにつながっています。日本の伝統的な技術は、職人たちが何百年とかけて、作り上げたもの。それらが世界で受け入れられハイクラス産業と共に次の日本の産業をリードするのです。



空海の椅子 (1989)



TAKO (1970)

[追記]講演では、イタリア・ミラノの建築や和紙の作品、漆作品、福井県の子供企業が発射計を世界に発信した例、静岡の建築家さんの技術が世界ヒット商品に活かされた例なども紹介させていただきました。スライドやビデオを活用して講演いただきましたので、ここでは講演のごく一部をご紹介しますことになりました。また、喜多俊之氏はこれらの取り組みを「紙と漆——伝統と復活」(六耀社・1999)を出版されています。

平成11年度 香川県デザイン協会 通常総会および交流会開催

6月8日に香川県産業振興センターで「平成11年度香川デザイン協会通常総会」が開催され、角谷昭三顧問、栗川登龍閣の御臨席のもと、平成10年度事業報告・収支決算および平成11年度事業計画・収支予算などが承認されました。また、総会後に行われた交流会においては、顧問の真鍋武蔵香川県知事も公務多忙な折に駆けつけていただきました。交流会では、各デザイナーが日ごろの活動の様子やこれからの香川県のデザインなどを語り合い、交流が図られました。



今年度の事業計画

平成11年度総会では、平成11年度事業計画として、以下の5つを柱に進めて行くことを決議しました。このような具体的な活動を通して、広く地域社会に貢献できるような考え方を、ひとりでも多くのみなさまの、参加を心よりお待ちしております。

普及啓発事業

- 「フロントア inKIP'99」への出展
デザイン協会の活動状況やPRするため、先端技術工業展に合わせて開催されるインテリジェントパーク内企業・団体の活動を紹介する展示会に出展する。
- 会員等デザイン作品展の開催
会員等県内デザイナーの作品展を開催し、県内産業界に対し、日頃の活動成果及び力をPRするため、デザイン作品展を開催する。

交流事業

- 会員交流会の開催
会員デザイナーと産業界との意見交換の場を設けるため、会員交流会を開催する。

新商品デザインの開発

地場産業と連携して、協会会員で構成するデザイン開発プロジェクトチームを組織し、香川県が依頼する県外有力デザイナーの指導・助言のもと、地場産品の新商品、パッケージ等のデザイン開発を行う。

研修事業

- デザイン講演会の開催
外部の有力デザイナーを招聘し、会員のデザイン知識や技術の向上を図るため、デザイン講演会を開催する。
- CGデザイン講習会の開催
協会会員又は外部講師を招き、CGデザイン講習会を開催し、会員のCGデザイン知識や技術の向上を図るため、デザイン講習会を開催する。

かがわ地場産業デザインルネサンス事業 地場産品のデザイン開発に18名が参加!

昨年度の手袋・うらわのデザイン開発に引き続き、今年度「商品デザイン開発」の参加者を募集したところ、グラフィックデザイナーを中心に各ジャンルのデザイナー18名が集まりました。地場産業の商品開発(プロダクトデザイン)は、本県に限らず、地方においては本格的に活躍するデザイナーの少ないジャンルですが、参加者の大半はむしろ未経験の分野で、未知の魅力に挑戦する姿勢が感じられました。また、このデザイン開発は、地場産業にも精通した国際的なプロダクトデザイナー喜多俊之氏の指導を受けながら進めていくもの。去る6月24日に香川県産業振興センターで第1回の打ち合わせが行われ、顔合わせも兼ねて自己紹介、喜多俊之氏から海外のプロダクトデザイン事情のビデオ紹介などもあり、和気あいあいに終了しました。

今後、産地見学会、開発チーム編成が行われ、平成12年3月にプレゼンテーションを行う予定です。

開発デザイナー対象業務

- 新商品・既存商品〔紫雲・土石園具 石材、瓦、レンガ、植木鉢、陶管〕
 - パッケージ〔食品関係〕うどん、醤油、清酒
- かがわ地場産業デザインルネサンス事業とは「交流事業」の平成11年度新規事業として、県内地場産業の活性化を図るため、県が香川デザイン協会に委託して、新商品やパッケージなどのデザイン開発を行い、関係業界(組合等)に提案するものである。

情報提供事業

- 会員名簿の発行
- 協会会報の発行
会員相互のコミュニケーションの場として、協会事業の案内・報告及び各種デザイン関係の情報を提供するために、会報を発行する。
- デザイナーズリストのホームページ制作
平成10年度に制作した「香川県デザイナーズリスト」のホームページ化を図るとともに、協会のホームページを作成し、インターネットを通じて県内デザイナー及びデザイン協会の活動を広くPRする。

その他の事業

- 地域及び産業界等への支援事業として、各種デザイン開発、審査業務等を行う。
- 「職員の向け分種推進ポスター」の制作(地方職員共済組合香川県支部)
- 「ネクスト香川紹介パンフレットの制作」(香川県)
- その他

各事業をお手伝いいただく委員を決定しました。

普及啓発委員会	
委員長	仁田 貴夫 (有)仁田デザイン事務所
副委員長	栗川 俊二 栗川俊二デザイン室
理事	藤原 徹也 (株)栗川商業建築研究所
委員	園部 幸二 (株)デザイン園
	清水 泰 穴吹カレッジオブデザイン
	神内 俊二 貫岐装飾院 登壇久
	竹田 愛晴 GALERIE HOSEI TAKEDA JAPAN
	馬場 初代 (有)ホットワークスタジオ
	村岡 寛 sunny mood production

まだ入会していない県内のデザイナーにぜひ一歩かけてください。

「デザイナーズリスト」Web版、制作。

先ごろ制作された「デザイナーズリスト」は、ご活用いただけます。引き続き、インターネット上での「デザイナーズリスト」を情報提供委員会にて制作します。つきましては、この機会に、さらに香川デザイン協会に参加を図るべく、知り合いの方にも協会の方に呼びかけてみてくださいます。パンフレットおよび入会申込書は、事務局(林町・産業センター内)にあります。また、すでに発行したデザイナーズリストの掲載内容に変更はございませんか。別途、確認書類をお送りいたしますので、ご確認をお願いします。

四国「歴史・文化道」シンボルマーク募集

「歴史・文化道」は、四国各地域の固有の歴史的文化遺産を巡るにふさわしいルートを設定し、歴史文化に親しみやすい環境を作り出そうとするもので、平成9年5月、四国の行政や経済界が一体となって、「歴史・文化道推進協議会」を設置、10のモデル地域を選定し、取り組みを進めています。こうした「歴史・文化道」事業の推進にあり、四国の歴史性・文化性をイメージする親しみやすいシンボルマークを皆様から募集しています。詳細は、同封のチラシまたは、次のホームページを参照ください。<http://www.netwave.or.jp/rekishi/>

交流委員会

委員長	理事	藤本 誠 (株)デザインエーシー
副委員長	理事	永見 安介 (株)桜製作所
委員		澤田 光生 (株)サワダ
		有岡 貞員 クラフト・アリオカ
		香川県(産業振興課)

研修委員会

委員長	理事	栄 秀樹 (株)穴吹カレッジサービス
副委員長	副会長	池田 清史 香川大学教育学部
委員		小西 洋一 (有)シテイング
		佐藤 昌平 佐藤昌平建築研究所
		清水 泰 穴吹カレッジオブデザイン
		深井 克彦 穴吹カレッジオブデザイン
		香川県(工業技術センター)

情報提供委員会

委員長	副会長	猿子 進 (有)猿子デザイン研究室
副委員長	常務理事	合田 武徳 (株)香川産業振興センター
委員		宮本 吉尚 (株)アムロンビジネス・システム
		前田 安清 (株)エ・ジ・シー
		北谷 勤 (株)エスピー・エフ
		広瀬 道隆 (株)オーキッド
		三宅 剛 (株)クリイロハウス マキシム
		坂本 眞次 (有)チャージ
		富田紀久子 (有)デザインオフィス キョク
		山下 康幸 (株)デザインセンター
		出淵 光一 いてぶちデザインスタジオ
		大西 洋三 デザインスペースVOX
		上出 栄治 上出広告制作所